



令和6年度富山県委託事業

公民館deつながるモデル事業

活動報告書

Activity Report

富山県公民館連合会
富山県教育委員会

は じ め に

私たちが住む「ふるさと富山」は、3,000m級の立山連峰と、水深 1,000m以上を誇る富山湾を有し、雄大で美しい自然に恵まれています。また、大伴家持がこの越中で多くの歌を詠むなど、歴史や文化の香る富山県は誇り高きふるさとともいえます。

人は、生まれ育った地域の自然や歴史、文化などを知ることによって、ふるさとへの愛着と誇り、感謝の気持ちを抱きます。そこで、幼い頃から地元の自然や文化に親しみ、大切に体験は、豊かな人間性を育むとともに、想像力を伸ばし、探究心を育てるなど、人格の形成に大きな効果が期待できるものと考えます。

富山県公民館連合会では、以前より将来を担う子供たちがふるさとに生まれ、健やかに成長することを願い、公民館を拠点にした子供たちのふるさとの学びや身近な自然体験活動を推進してまいりました。

令和5年6月に閣議決定された第4期教育振興基本計画では、持続的な地域コミュニティの基盤形成に向け、公民館などの社会教育施設の機能強化が重要施策の一つとして位置付けられています。これまでも、公民館はコロナ禍や自然災害などの困難な状況を乗り越えながら、地域の活動を支えてきましたが、とりわけ昨年1月の能登半島地震においては、地域の避難所や支援拠点として重要な役割を果たしました。このような経験を踏まえ、復興に向けた取り組みを進めるためにも、今後も「つどう・まなぶ・むすぶ」場として、公民館の機能強化に取り組んでいきたいと考えています。

さて、「公民館 de つながるモデル事業」も2年目を終えようとしています。これまでの公民館活動を大切にしながら、デジタルを組み合わせることで、幅広い世代との新たなつながりが生まれ、地域活動の可能性が広がりました。またこの2年間で、各公民館が工夫を凝らした地域のニーズに応じた活動を展開することで、地域社会における公民館の役割がさらに認識されたことを実感しています。今後も、これまでの成果を基に、令和の時代にふさわしい公民館活動をさらに推進し、地域の絆が深まることを期待しています。

終わりに、本事業の実施ならびに活動報告書の作成にあたり、ご協力いただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。

令和7年3月

富山県公民館連合会

会 長 中 西 彰

Table of Contents



- 01 富山市立八尾公民館
- 02 高岡市立守山公民館
- 03 滑川市立早月加積地区公民館
- 04 黒部市立浦山公民館
- 05 黒部市立石田公民館
- 06 砺波市立五鹿屋公民館
- 07 砺波市立梅檀山公民館
- 08 南砺市北野地域づくり協議会
- 09 上市町立柿沢公民館
- 10 入善町上原公民館

富山市立八尾公民館

◆地域の概要

・本地域は富山県の中心から少し南に位置する、中山間地域です。旧飛騨街道に位置する本地域は、かつては和紙や養蚕で栄え、「富山のお納戸」と呼ばれるほど財政豊かな町でした。豪華絢爛な山車を引き回す「曳山祭り」と、歌と楽器と踊りが三位一体となる「おわら」は約 300 年の歴史があり、行事開催日には毎年大勢の観光客が訪れます。また、町内にある城ヶ山公園には桜やもみじ、チューリップや紫陽花など、四季折々の草花が植えられており、文化と自然に溢れた町となっております。

・世帯数 825 世帯、人口 1,850 人 (R6. 12 月末現在)。そのうち、0～14 歳が 130 人で約 7%、65 歳以上が 864 人で約 47%という割合になっており、少子化が進み超高齢社会となっています。伝統文化の担い手不足も課題となっています。

◆デジタル活用の活動内容

①学習成果の発信 (HP)

- ・広報誌のデジタル化
- ・公民館講座の活動状況や活動報告を発信

◆事業の流れ

実施日	場所	活動内容 (デジタル活用を含む)	参加人数
6 月 20 日 (木)	八尾公民館	筆文字教室 ・筆を使い文字や絵を書き、筆を使う楽しさを知る ・学遊ネットにてチラシや活動報告を発信	10 名
7 月 7 日 (日)	立山グランドボウル	ボウリング大会 ・子供から高齢者の方まで幅広く参加を呼びかけ、ボウリングを楽しんだ ・学遊ネットにてチラシや活動報告を発信	107 名
10 月 27 日 (日)	八尾公民館	八尾地区スポーツフェス ・気軽に参加できる軽スポーツ、防災意識の向上や訓練を兼ねた豚汁作り等、家族そろって参加できる事業をした ・学遊ネットにてチラシや活動報告を発信	約 400 名
12 月 20 日 (金)	八尾公民館	門松作り教室 ・門松を使ったお正月飾りを作った ・学遊ネットにてチラシや活動報告を発信	23 名

◆事業の様子

☆ 筆文字教室

筆ペンを使って、和やかで味わい深い書や絵にチャレンジしました。右から左、下から上へ向かって筆を進めたり、思いっきり字の形を崩して絵のように書いたり、習字の常識にとらわれない表現方法が新鮮でした。先生の解説とお手本を参考に、みなさん伸び伸びと己書を楽しみました。



☆ ボウリング大会

初開催の昨年度が大好評だったのを受け、今年度は全レーンを貸し切りしました。参加人数も昨年から約 40 名増となり、会場は熱気に溢れ大盛り上がりでした。未就学児から高齢者まで幅広い世代の方が参加されました。歓声やハイタッチが飛び交い、より親睦を深める機会になったかと思えます。



☆ 八尾地区スポーツフェス

従来行ってきた住民運動会・ウォーキングにかわり、八尾地区のみなさんがさらに楽しく交流できる行事を企画しました。スポーツレクリエーション、豚汁や屋台食の販売、血圧・体力測定、抽選会などを行い、設営や調理・運営を町民の皆様にご協力いただきました。初めての開催でしたが、大人から子供まで予想をはるかに上回る大勢の方が参加され、大盛況となりました。久しぶりに会った友人と話が弾んだとの声もありました。



☆ 門松作り教室

高さ約 60cm の門松作りに挑戦しました。最初に門松や装飾品についての解説があり、参加者の皆さんは興味深く聞き入っていました。次に手順の説明があり、その後制作作業に入りました。先生が実際に制作しながらコツを説明してくださったので、みなさん手際よく作業されていました。後日町内を歩くと、早速玄関先に門松を飾っている御宅を何件も見かけました。「同じ講座に参加した」という親近感が沸いたのではないのでしょうか。



◆事業の成果と課題

チラシや活動報告を紙媒体だけでなく web 上でも発信して公民館活動が目に触れる機会を増やしたり、チラシ制作の際に web 上のフリーイラスト素材を使用し堅苦しさを無くしたりして、親しみやすさを出しました。結果、幅広い世帯の参加があり、良き住民交流の場となりました。子供たちや、今までの公民館行事で見かけたことのない方達の参加も多数あったのが大きな収穫です。特に若い世代に公民館行事を通じて地域活動を楽しんでもらえれば、その思い出が地元への愛着となり、地域の活性化にも繋がるのではないかと期待しています。

これからもデジタル活用による発信や工夫を続け、住民の皆さんが気軽に公民館行事へ参加できる環境を作っていきたいと思えます。

高岡市立守山公民館

◆地域の概要

- ・本地区は、中山間地域に位置し、北東部の二上丘陵には守山城跡があり、西部には能越自動車道の高岡北インターチェンジがある。
- ・田んぼを眺めれば、季節の移ろいを感じることができ、水と緑に囲まれた自然豊かな地域である。
- ・70 歳以上の高齢者が占める割合が高いため、公民館の利用者が限定されている。
- ・若い世代にも利用してもらうため SNS の活用が必要である。

◆デジタル活用の活動内容

①学習成果の発信

- ・ SNS を活用した講座情報の発信（インスタグラム、YouTube）

②多様な参加のアプローチ

- ・ ZOOM を活用し、他の公民館とのオンラインセミナーの開催

◆事業の流れ

実施日	場所	活動内容（デジタル活用を含む）	参加人数
6 月 17 日（月）	守山公民館	・ mori カフェ（公民館カフェ）の様子を発信	4 0 名
8 月 24 日（土） ～ 1 月 31 日（金）	Udemy オンライン講座	・ OBS スタジオ入門、CANVA マスター講座 ・ Instagram 活用講座	4 名
7 月 31 日（水） 8 月 8 日（木）	守山公民館 オンライン	・ ZOOM 体験会（全 2 回） ・ 自宅から参加	5 名
10 月 3 日（木）	守山公民館 オンライン	・ ZOOM によるミーティング 参加公民館とリハーサル	1 0 名
10 月 22 日（火）	守山公民館 オンライン	・ コーヒーセミナーを対面集合型及びオンライン で実施（参加公民館：4 館） ・ セミナーの様子を YouTube でライブ配信	1 2 名
12 月 5 日（木）	守山公民館	・ もりシネマの開催 （来館 1 0 名、ZOOM 2 名）	1 2 名
12 月 7 日（土）	守山公民館	・ mori カフェ（公民館カフェ）の開催 ・ 富大コーヒーサークルとコラボ開催 インスタライブでの配信	4 8 名

◆事業の様子

☆ 公民館カフェ「mori カフェ」の開催（6 月、1 2 月）

地域のみなさんの憩いの場、つながりの場として公民館カフェを開設した。
多くのお客様とふれあうことができ、公民館事業の要望や楽しいお話ができた。
また、カフェの様子を動画で撮影し、インスタグラムに投稿した。



☆ Udemy オンライン講座の受講

SNS を有効活用するために公民館職員でオンライン講座を受講し、IT スキルの向上に務めた。
(内容) オンライン講座のために、いつでも好きな時間に繰り返し受講した。

☆ ZOOM 体験会の開催

(内容) 全2回での体験会を実施した。

1回目：ZOOM の使い方を学ぶ

2回目：自宅から ZOOM を利用し、オンラインでの会話を楽しんだ。

☆ コーヒーセミナーの開催

(内容) 従来の対面集合型に加え、ZOOM を使ってオンライン参加を他の公民館へ募集した。

- ・オンライン参加公民館 3館（二上公民館、石堤公民館、西五位公民館）
- ・講師は、富山大学コーヒーサークル「パリスト」部員



◆事業の成果と課題

公民館カフェ事業は、地域のみなさんの憩いの場、つながりの場として開設することで、地域の多くの方々に認知され、地域のつながりの場を提供できたことがよかった。

また、コーヒーを通じて参加者同士の会話が増え、参加者同士の交流が深まった。

Udemy オンライン講座は、私たち公民館職員の IT スキルの向上が図られた。

特に、ZOOM によるリモート会議は、事前学習で学んだスキルが役立ち、スムーズに行うことができた。デザインツールの CANVA は、イベント案内のちらし作成、インスタグラムに投稿するデザインツールとして非常に役立った。

そのほかのオンライン講座も公民館事業を進めるためにも重要であり、より活用したい。

オンラインセミナーは、対面学習型に加え、地元の学生サークルの協力により ZOOM を利用し、実施した。事前打合せや ZOOM でのリハーサルを繰り返し行ったことで、講師の方や他の公民館の参加者も本番をうまくでき、IT の活用が図られた。

(課題)

いまや多くの人が、情報を探し、学び、他者と交流し、買い物をし、問い合わせを行う場所として SNS を利用しており、私たち公民館職員も SNS の重要性を認識する必要がある。

そのため SNS ツール (Instagram、X、LINE など) を各公民館へ導入し、情報発信の充実を図ることが必要である。

今後は、若者に人気のある「Tik Tok」でショート動画を利用した情報発信に挑戦したいと考える。

滑川市早月加積地区公民館

◆地域の概要

- ・本地区は滑川市東北部に位置し、富山湾や早月川と隣接している。地区の大部分が田畑の農村地域だが、線路沿いや早月川沿いには大小さまざまな工場がある。また公民館の近くには樹齢100年を超えるエドヒガンザクラがあり、滑川市指定文化財天然記念物となっている。
- ・本地区の小学校は本地区を含む2つの地域からなるため、もう一つの地域と合同で活動を行うことがある。
- ・高齢者が多くまた公民館は縦に長い地区の中央にあるため、公民館に足を運ぶことが難しい人も多くいる。

◆デジタル活用の活動内容

①学習成果の発信

- ・SNSでの発信

②多様な参加へのアプローチ

- ・リモートでの参加に向けて、公民館スタッフや地区住民の学習会

◆事業の流れ

実施日	場所	活動内容（デジタル活用を含む）	参加人数
5月19日(日)	早月加積地区公民館	公民館スタッフ学習会 ・公民館スタッフがSNSでの発信やオンライン講座のやり方を学ぶ	7名
8月7日(水)	栗山町内	栗山七夕まつり ・地区内で行われる伝統行事の様子を撮影・編集しYouTubeで配信する	40名
8月24日(土)	早月加積地区公民館	Zoom勉強会 ・地区住民にZoomの使い方を学んでもらう	10名
8月25日(日)	早月加積地区公民館	防災講演会 ・Zoomにてリモートで講演会を行う ・上記のZoom勉強会の参加者にもリモートで参加してもらう	11名

◆事業の様子

☆ 公民館スタッフ学習会

SNSの活用についてスタッフ間で情報共有や勉強会を行い、また Zoom の使い方について実際にスタッフ間で Zoom をつなげ利用方法を検討した。

☆ 栗山七夕まつり

地区内で伝統的に行われている行事である七夕まつりは、過去には地区内のいくつかの町内で行われていたが現在では栗山町内のみとなっている。

そのため地区内でも七夕まつりの存在を知らない人も多くなっているため、その紹介や伝統を紡ぐという意味でも動画を撮影し公開した。

しかし編集の際参加者の顔にぼかしを入れようとしたが、個別にぼかすことができず画面全体にぼかしを入れることとなり少し見づらくなってしまった。



☆ Zoom 勉強会

滑川市の中央公民館では様々な講演会を Zoom にてリモート視聴できるようにしているが当地区に高齢者が多くそもそも Zoom を使えない人が多い。

そのために Zoom の基本的な使い方を学んでもらいリモート視聴するためのハードルを下げようとした。

講師は学習会に参加したスタッフが務め、参加者からも分かりやすかったと感想をいただいたが、マイクをオンにしたところ複数人が同じ部屋でつながっていたためハウリングが起きてしまい、通話の体験がうまくいかなかったのが心残りである。



☆ 防災講演会

前述の Zoom 勉強会に参加していただいた方々に実際に Zoom を利用してもらおうとその翌日に講演会を行った。

Zoom でも公民館でも参加できるようにし、Zoom の操作にまだ不安のある方のために公民館の別室にスタッフを配置しそこで視聴できるようにした。

ただ設営の際 Web カメラでスクリーンを撮影しようとしたところ、スクリーンが白飛びして見えなくなってしまったことが反省点である。



◆事業の成果と課題

本事業を通して Zoom や YouTube の使い方、動画編集などのさまざまなことを学ぶことができた。また公民館スタッフがこれを機にその他のデジタルツールを使う意欲が高まった。

ただ Zoom を使う際は住民の方々が Zoom に慣れていってもらう必要があるが今回のように地区公民館で勉強会を開いても公民館に足を運びにくい方々は参加できないため、今後はそれぞれの自治公民館で開催していくことでより幅広い方々に公民館に触れていってもらえるよう努力したい。

黒部市立浦山公民館

◆地域の概要

- ・本地区は黒部川となだらかな山に囲まれた田園地帯で、地形は全体的に緩やかな傾斜になっている。住宅地そして田畑に川や用水路が縦横に流れている。地区の東西に県道、旧県道、富山地方鉄道が走り、分譲地も開発され住民も僅かだが増えてはいるが高齢化率は上がっている。
- ・昔は加賀藩主がお泊りになる御旅屋があった宿場町であった。
- ・北陸新幹線の黒部宇奈月温泉駅に 5 分で行ける場所で県外に行くには交通の便が良いところである。

◆デジタル活用の活動内容

①学習成果の発信

SNS (Instagram) を活用し活動内容を報告

②多様な参加へのアプローチ

SNS (Instagram) を活用し講座の案内発信

2 次元コードを活用し申し込みの簡素化

③他館との交流

Zoom を活用し他県講師とオンライン講座開催

Zoom を活用し他館とオンライン合同教室を開催

◆事業の流れ

実施日	場所	活動内容 (デジタル活用を含む)	参加人数
6 月 14 日 (金)	浦山 交流センター	職員の学習会 ・ Zoom ミーティングの仕方について ・ オンライン講座を開催する際の疑問点や不安点などの相談	2 名
6 月 20 日 (木)	黒部市宇奈月町 浦山・栃屋地区 内	ほたるの鑑賞会 ・ 2 次元コードを活用し申し込み受付 ・ 活動内容を SNS (Instagram) で発信	41 名
7 月 12 日 (金) 8 月 7 日 (水)	うらやま保育園 宇奈月小学校	盆踊りの練習を行い踊りの継承 ・ 活動内容を SNS (Instagram) で発信	11 名 31 名
7 月 19 日 (金)	長野県姫川源流 自然探勝園 白馬五竜	ジオパーク巡り ・ 自分たちの地域との相似点や相違点を知り、我が地域の特性を再認識 ・ 動画で記録を撮る。	22 名

9 月 19 日（木）	浦山 交流センター	風呂敷ワークショップ ・ Zoom を活用し県外講師による風呂敷ワーク ショップ開催 ・ ワークショップの案内、活動内容を SNS （Instagram）で発信	11 名
11 月 28 日（木）	浦山 交流センター	オンラインスマホ教室 ・ Zoom を活用し市内 1 公民館とつなぎスマホ教 室を同時開催 ・ 活動内容を Instagram で発信	14 名

◆事業の様子

☆ ほたるの鑑賞会

保育園や小学校、近隣の公民館にチラシの配布をお願いし、2次元コードからの申し込みを受け付けた。若い世代の親子さんからは申し込みのほとんどが2次元コードからであった。鑑賞会では普段入ることのない場所で蛍が見ることが出来た。蛍の飛来状況を発信したところその SNS を見て参加した方もいた。



☆ 盆踊り練習会

小学生の高学年ともなると踊りを覚えている子が多く、地区の方が歌う盆踊りの歌に合わせて楽しく踊ることができた。地区の盆踊りの参加を促すこともできた。練習の様子を SNS で発信した。



☆ 風呂敷ワークショップ

Zoom を活用し県外の講師の風呂敷ワークショップを初めて開催した。プロジェクターからも講師の様子が分かり音声も問題なく開催することができた。カメラを2台設置しカメラの切り替えなどでこちらの作業の様子が講師の方にも分かるよう工夫をした。



☆ オンラインスマホ教室

黒部市の他の公民館と Zoom を活用しオンラインでつながり、スマホ教室を開催した。少しの時間お互いに交流も出来た。スマホで写真の撮り方のコツや2次元コードの読み取り方などを学んだ。



◆事業の成果と課題

オンラインでの教室は、資料を画面共有すると資料だけの画面になり、オンラインで教室を受ける側は分かりづらくなることが分かった。カメラを増やしカメラの切り替えをしながら、対面と同じような感覚で受けられるようにする工夫が今後必要だと感じた。

SNS で情報発信することにより、地区の方も楽しんでみていると声が聞かれた。普段公民館を利用しない方にもどんな活動をしているのか知ってもらえる良い機会となった。

今後動画撮影をしたものを SNS 活用して情報発信することで、より若い年齢層にも情報が届きやすくなるが、撮影や編集技術を習得する時間が必要になると感じた。

黒部市立石田公民館

◆地域の概要

- ・黒部市の海岸沿いに位置し、人口約 5,600 人、2,480 世帯。自治会は 8 町内で構成
- ・石田浜海水浴場、石田フィッシャリーナ、パークゴルフ場、大島キャンプ場など自然豊かな観光資源を有する。
- ・道の駅、商業施設、温浴施設なども誘致され若年層、交流人口も増加している。

◆デジタル活用の活動内容

①学習成果の発信

- ・広報誌のデジタル化
- ・公民館講座の活動状況や活動報告の発信

②多様な参加へのアプローチ

- ・講座案内のデジタル化

◆事業の流れ

実施日	場所	活動内容（デジタル活用を含む）	参加人数
6 月 21 日 (金)	石田公民館	公民館職員が、YouTube・Instagram での情報発信方法を学ぶ	延べ 10 名
8 月 4 日 (日)	石田浜周辺地	石田浜周辺で石田納涼まつりを開催 ・開催の様子を撮影し、YouTube へ投稿 (ステージイベント、花火大会)	6 名
7 月～8 月	石田公民館	黒部踊りの練習会を実施。また、街流し本番に参加し黒部踊りの継承につなげる ・練習会及び街流しの様子を SNS へ投稿	延べ 120 名
2 月 18 日 (火)	石田公民館	石田地区地域支え合い「健やか教室」の皆さんと公募で参加された方々に e スポーツを体験してもらう	27 名

◆事業の様子

☆ 公民館職員研修

SNS での情報発信方法について、学習会を行った。学習会では YouTube への動画掲載方法や、Instagram の効果的な使い方、令和 6 年度より開設したホームページの運用方法など、今後の公民館活動をアピールする手段を充実させる有意義な学習会となった。



☆ 石田納涼祭りの開催

毎年の恒例行事である石田納涼祭りを石田浜周辺で開催した。今年度より、祭りの様子を YouTube へアップし、予定が合わず参加できなかった方も後日楽しめる形にした。

職員のみで撮影等が難しく、デジタルを活用するための人材が不足している。編集についても、顔のぼかし等、技術的・時間的に難しいことが多く、今回は外部に依頼した。



☆ 黒部踊り練習会・黒部踊り街流し

公民館において、黒部踊りの練習会を実施した。街流し本番に向け、当日の配置やパフォーマンスに磨きをかけた。今年度より参加募集はホームページや Instagram を活用し、延べ 100 人以上の方が参加された。

練習会の様子や街流し本番の様子は Instagram、デジタル化した広報誌へ掲載。



☆ e スポーツ体験会

高齢者にデジタルの楽しさを体験いただくため、e スポーツ体験会を実施した。「太鼓の達人」と「ボウリング」を体験し、参加者でハイタッチする場面も見られた。

e スポーツ体験をするには専用の機材も必要になるため、継続して実施するには予算的な問題がある。



◆事業の成果と課題

公民館活動を他地区公民館含め、たくさんの方に知っていただけた。デジタルは便利だが、個人情報などいろいろな制約もあり難しい。撮影、編集など人手が必要だが不足しているため、外部の人に頼るほかない。

砺波市立五鹿屋公民館

◆地域の概要

- ・砺波市の南部の見渡す限り美しい散居村が広がる農村地帯にある。9 自治会、2019 人（R7.1 現在）を対象に公民活動を展開している。
- ・豊かな五鹿屋づくりをめざし、各種団体やグループとの連携を密にして、活動の充実を図っている。地区内には、南部認定こども園や砺波南部小学校があり、校区を同じくする東野尻公民館と共同で行う活動も多い。
- ・平成 30 年 11 月から新施設（旧五鹿屋幼稚園舎を改装）に拠点を移し、地区民の生涯学習並びにレクリエーション活動を推進している。

◆デジタル活用の活動内容

①学習成果の発信

- ・公民館のホームページにて活動内容の発信

②多様な参加へのアプローチ

- ・SNS 発信された動画を見てその有効性に気づき、自身で制作し楽しむことを学ぶ講座の開催

③他館とのオンライン交流

- ・同じような活動をしている県外の地区公民館とオンラインで情報交換

◆事業の流れ

実施日	場所	活動内容（デジタル活用を含む）	参加人数
5 月 14 日（火）	五鹿屋公民館	福井県の乾側公民館と Zoom でシバザクラを題材としてオンライン交流会を行った。	10 名
11 月 3 日（日）	五鹿屋公民館	小学生が親子料理教室に参加した感想を、公民館のホームページに投稿する活動を行った。	5 名
11 月 4 日（月）	五鹿屋公民館	「映像を楽しもう」と題し講演会を行った。	30 名
2 月 13 日（木）	五鹿屋公民館	公民館のホームページに動画をユーチューブを利用し、投稿する作業を行った。	4 名

◆事業の様子

☆ シバザクラでつながるオンライン交流会

全国でもシバザクラの植栽で先進地域である福井県大野市の乾側公民館と、Zoomを活用して交流を行いました。散居村の景観を保つ五鹿屋地区でも10年ほど前から環境事業の一つとしてシバザクラの植栽が行われています。両公民館で地区の紹介や植栽についての悩みなどをオンラインで話をしました。



☆ 公民館のホームページに五鹿屋っ子の活動を掲載

五鹿屋地区の子どもたちが公民館活動で経験したことを公民館のパソコンを使い、自分たちでホームページに投稿する作業を行いました。今回は親子料理教室での体験を投稿、日頃から学校でもタブレットなどの機器を使う子どもたち、上手に作業をしてくれました。



☆ 「映像を楽しもう！」講演会

砺波市在住で映像ディレクターの渡辺浩章さんを講師にお迎えし、撮影や編集の工夫、裏話をお話していただきました。映像を使ったアプローチによる宣伝効果など活用の重要性を学ぶことができました。



☆ 公民館のホームページで五鹿屋地区の動画配信

既存のホームページでユーチューブを利用し五鹿屋地区で行われた活動や様子を動画にして、配信する方法を学び実際に行いました。

◆事業の成果と課題

他県で同じ活動に取り組む団体や公民館との交流として、Zoomを通して顔を見ながら対話できたことがよかったです。

子どもたちが自分で作成した文章や撮影した写真を公民館のホームページに投稿することで、今後も親子で公民館活動に興味を持ってくれることを期待しています。

今年度大型モニターの導入で、モニターを利用した公民館活動が増えました。

また SNS やホームページ、ユーチューブのデジタルの媒体を活用することであらゆる世代の地区民が公民館活動について理解が深まり、活動の幅が広がりました。

砺波市立梅檀山公民館

◆地域の概要

- ・本地域は山間部のため、春は山菜に恵まれ、夏は森林浴ができます。
- 秋は、夢の平スキー場でコスモスウォッチングが開催され、100 万本のコスモスが咲きます。
- 冬は夢の平スキー場でウィンタースポーツが楽しめる、一年を通して四季を感じられる公民館です。
- ・土砂災害危険区域に指定されていて、毎年災害で、避難所の開設をしています。
- ・地域住民の 2 人に 1 人が高齢者という割合で、市内で最も少子高齢化が進んでいる地域です。

◆デジタル活用の活動内容

①学習成果の発信

- ・結ネットを活用した公民館活動の情報発信

②多様な参加へのアプローチ

- ・Zoom を活用した孤立集落避難訓練

◆事業の流れ

実施日	場所	活動内容（デジタル活用を含む）	参加人数
5 月 19 日（日）	夢の平スキー場 梅檀山農村集落 センター	男性料理教室 ・地元で収穫した山野草を調理した。 ・結ネットで食べられる山野草の公開と料理を 公開した。	28 名
7 月 14 日（日）	恐竜博物館	日帰り研修 ・恐竜博物館に行き、中は撮影できなかったが、 外観を結ネットで公開。	34 名
9 月 8 日（日）	梅檀山農村集落 センター	竹で灯籠を作り、カブトムシと展示する。	14 名
11 月 10 日（日）	各公民館	孤立集落避難訓練 ・Zoom を使って、各公民館より報告を受けた。	83 名

◆事業の様子

☆ 男性料理教室（山野草料理教室）

いつ孤立集落になるかわからないので、地元で収穫できる山野草を収穫して、男性・女性関係なく料理できるように、男性料理教室を開催しました。朝は、本当に食べられるのか心配なものも収穫してきて、食べてみました。男性の方から、簡単で美味しかったと、大絶賛でした。

男性料理教室風景は、結ネットで公開しました。



☆ 日帰り研修（恐竜博物館）

福井県の恐竜博物館に、行ってきました。

行けなかった方たちも楽しめるように、外観など、結ネットで公開して楽しんでもらいました。

☆ 竹で灯籠作り、カブトムシと展示

地元で伐採した竹を使い、灯籠を作りました。子供達が大好きなカブトムシと一緒に展示しました。展示の様子は結ネットで公開しました。

集落センターに来館できない方たちも、家に居ながらにして珍しいカブトムシを結ネットで見ることができました。県立砺波高校生が授業の中で見に来てくれて、大好評でした。



☆ 孤立集落避難訓練

各公民館へ避難して、Zoomを使い各公民館の様子を、本部に報告しました。

Zoomだと、避難者の顔もわかり、必要な物資も伝えることができました。

◆事業の成果と課題

（事業の成果）

デジタルは高齢者の生活に欠かせないものになっていて、公民館活動の案内も電子回覧板で行っています。5月山野草の料理教室・7月日帰り研修は参加できなくても結ネットで公開して、楽しんでもらえました。公民館活動を感じてもらえることができて、本当に良かったです。

結ネットを見て、あとから問い合わせも来て、公民館の活性化につながりました。

（課題）

Zoomを使っの避難訓練は良かったのですが、Wi-Fiがなく、つながらない公民館もあり、これからの課題だと思いました。

北野地域づくり協議会

◆地域の概要

・本地域は、城端市街の北方に位置し、兼業農家の多い農村地帯。北野天満宮を中心としてまとまりのある地域で、井波瑞泉寺と善徳寺の中間点に位置することもあり文化、芸術的環境に恵まれ、俳句の愛好、式年太鼓などが受け継がれている。

・世帯数 278 戸、人口 861 人 (R6.4.1)。そのうち 65 歳以上が約 40%と高齢化が進んでおり、少子化も相まって、地域の伝統、行事などをどのように存続していくかが課題となっている。

◆デジタル活用の活動内容

①学習成果の発信

- ・ Google フォトを活用した写真、動画の共有

② 多様な参加へのアプローチ

- ・ HP への行事予定、参加募集の掲載
- ・ 二次元バーコード、Google フォームの活用
- ・ Canva を利用した案内チラシの作成

◆事業の流れ

実施日	場所	活動内容（デジタル活用を含む）	参加人数
5 月 26 日(日)	北野地内 農協青年部の畑	さつまいも苗植え ・ さつまいもの苗植え。 ・ Canva で案内チラシ作成。HP に情報を掲載。 ・ Google フォーム、Google フォトを活用し、当日の写真を共有。	24 名
7 月 24 日(水) ～10 月 31 日(木)	北野交流センター 軽体育館	小若連チビッコ太鼓教室 ・ 小中学生対象の和太鼓教室。 ・ 募集案内チラシに二次元バーコードを設置。 申し込み Google フォームを活用。 ・ Google フォトを活用し、写真、動画を共有。	34 名
10 月 6 日(日)	北野地内 農協青年部の畑	さつまいも収穫体験 ・ さつまいもの収穫体験と焼き芋。 ・ Canva で案内チラシ作成。二次元バーコード、Google フォームの活用。HP に情報を掲載。 ・ Google フォトを活用し、写真、動画を共有。	32 名
11 月 3 日(日)	北野交流センター	第 44 回北野ふれあいまつり ・ 交流センターで活動する団体などのステージ発表、作品展示。活動報告動画の映写。 ・ 案内チラシを Canva で作成。 ・ 動画の撮影。(未公開)	約 150 名

◆事業の様子

☆ さつまいも苗植え

農協青年部の協力を得て実施。

Canva で案内チラシを作成。小学校の協力で、地区内の小学生に配布したことから、親子での参加が多かった。当日、Google フォームを活用し、メールアドレスを収集。後日、Google フォトにて写真を共有した。



☆ 小若連チビッコ太鼓教室

式年太鼓保存会の指導により、小中学生対象の和太鼓教室を実施。

参加児童、生徒 34 名中 33 名が案内チラシに掲載した二次元バーコードによる申し込み。

北野天満宮秋季例祭奉納太鼓に出演し、成果を家族や地域の方に発表した。11 月のふれあいまつりにも出演。

Google フォト共有アルバムのリンクを公開し、写真、動画の共有を行った。



☆ さつまいも収穫体験

農協青年部の協力を得て実施。さつまいもの収穫体験と事前に掘っておいたさつまいもで焼き芋を行った。

Canva を利用し、二次元バーコードを掲載した案内チラシを作成。今まで行事に参加したことのない親子の参加もあった。



☆ 北野ふれあいまつり

交流センターを利用している団体、保育園児などのステージ発表を行った。また、協議会の活動報告動画を制作、映写した。

事前に、Canva で案内チラシを作成。ネット印刷を利用しカラー印刷を行い、全戸に配布。

ステージ発表の動画を撮影したが、十分なものが撮影できず、公開できなかった。



全戸配布したチラシ

◆事業の成果と課題

- ・二次元バーコードを利用することで手軽に申し込みができ、特に小中学生とその親の参加はほぼ二次元バーコード経由の申し込みで、これまで行事に参加したことのない親子の参加も見られた。また、Google フォームの活用で、名簿を自動で作成することができ、手間を減らすことができた。
- ・一方で、高齢者の参加は電話または紙の利用がほとんどであったことから、今後高齢者を対象にしたスマホ教室の実施など、デジタルデバインドを解決する施策を考えていく必要性を感じた。
- ・動画の撮影、編集に対する知識が不十分で、技術的にも未熟で、十分なものが撮影できず、公開できなかった。また、他のデジタル活用についても、ほぼ一人の担当者で行っており、今後職員および交流センターで活動する団体向けの講習会を行い、スキルアップを図る必要がある。
- ・各種 SNS の開設を行う予定であったが、運用方針などを定めることに手間取り、手がまわらなかった。個人情報の取り扱いについての取り決めも含め、整備していきたい。

上市町立柿沢公民館

◆地域の概要

・柿沢公民館は、上市町の中心市街地と大岩山日石寺で有名な大岩地区との間の田園地帯、柿沢地区に位置している。

地区の世帯数は 400 世帯弱で、少子高齢化や人口減少が進み、校区の小学校は令和 8 年度から町中心部の小学校に統合する準備が進められている。

◆デジタル活用の活動内容

①学習成果の発信

- ・ SNS を活用した学習成果の発信

◆事業の流れ

実施日	場所	活動内容（デジタル活用を含む）	参加人数
5 月 22 日（水）	陽南小学校	SDGs 学習会 ・ SDGs って なあに？ ・ 自分の思いを書き出してみる ・ 自分たちに何ができるのか意見を出し合う ・ 情報発信	10 名
6 月 4 日（火）	陽南小学校	エコについての学習 ・ ペットボトルキャップをリサイクルしてできているエコフラポットについて知る ・ 花植え体験 ・ 情報発信	15 名
10 月 25 日（金）	陽南小学校	贈呈式と花の植え替え ・ 前回の活動後、自分たちで考え取り組んできたキャップの回収活動で集まったキャップの講師への贈呈式 ・ 夏の花から秋冬の花へと植え替え ・ プールサイドに飾り付け ・ 毎日の花の手入れ ・ 情報発信	15 名
11 月 14 日（木）	陽南小学校	半年間取り組んできた活動の振り返り ・ 寸劇形式での活動報告 ・ 事業を通して学んだことを発表 ・ 講師からの助言 ・ 情報発信	11 名

◆事業の様子

☆ SDG s 学習会

自分は今幸せか、何があれば幸せになれるかを考えた。
「みんなが幸せでいられるように何かをやり続けられる 17
の目標を 2030 年までに達成することがSDG sである」と
わかりやすい言葉で学んだ。



☆ エコについての学習

ペットボトルキャップ 80 個から 1つのエコフラポットが
できていることを知った。そのエコフラポットに花を植え、
毎日手入れを行い、花で学校周辺をきれいに飾りつけること
で地域の方に喜んで頂いた。



☆ ペットボトルキャップの贈呈式及び花の植え替え

子供たちの発案でキャップ回収運動が始まり、自分たちで
できるSDG sをどんどん深掘りしていった。

集めたキャップの贈呈式と秋冬の花への植え替えを行った。



☆ まとめの学習会

半年間取り組んできた成果を寸劇形式で発表した。

事業を通して学んだことについて意見を出し合い、講師か
らの助言を受け、活動のまとめを行った。



◆事業の成果と課題

- ・言葉では聞いたことがあってもよくわからないまま聞き流していた「SDG s」は、私たちが幸せに生活するための大切な取り組みであることを知った。
- ・学習を進めていく中で、子供たち自身で自らできることを考え、ペットボトルキャップ回収運動やアルミ缶の回収などのエコ活動につながり、地区住民からもたくさんの協力を得ることができたことから、子供たちにとって大きな自信となった。
- ・フラワーロード作りやゴミ回収運動によって、自分の住む地域がどんどん綺麗になったことで、人や物への感謝の心が育ったと思う。最後のまとめの学習会では自分たちの活動の成果を寸劇形式で発表し、子供たちの成長ぶりに講師から大きな拍手を頂くことができた。子供たちからも「これからも活動を続けていきたい」という力強い言葉もあった。
- ・これらの活動については事前に保護者から承諾を取り、Instagram でも適宜発信し続け、フォロワー数もどんどん増えていった。課題として感じたことは、職員全体が同じ目線で事業に取り組むことの大切である。職員全員がモデル公民館としての自覚を持ち、スキルを身につけていくことが大切だと感じた。
- ・子供たちには今回の事業でSDG sの取り組みを終了するのではなく、一つのきっかけとして今後とも引き続き取り組んでいてもらいたいと思う。

入善町上原公民館

◆地域の概要

- ・富山県入善町上野地区にある「上原公民館」、別名「産業展示会館」です。
- ・当館は上原地区の皆様の憩いの場として、入善町発祥の室内競技ウォークベースボールや、ペタンク、卓球、パソコン、詩吟、大正琴、ダンス、上映会、子育て、地区の会議や研修会等に幅広くご利用いただいております。
- ・当館は入善町ゆかりの芥川賞作家・柏原兵三氏の長編小説のタイトルにもなった総延長約2キロの「長い道」(映画「少年時代」の舞台)の道沿いにあり、隣接する上原公園には「長い道」の記念碑があります。

◆デジタル活用の活動内容

②多様な参加へのアプローチ

- ・SNS (Instagram、YouTube) を活用した行事案内の様子と発信
- ・LINE を活用した臨時情報の発信 (悪天候による臨時閉館のお知らせ、冬季間の駐車場除雪状況等)

◆事業の流れ

実施日	場所	活動内容 (デジタル活用を含む)	参加人数
6 月 29 日 (土)	沢スギ自然館	「親子ホタル鑑賞会」 Instagram にて予告／当日リアルタイムで画像投稿／YouTube にて動画を公開	30 名
7 月 27 日 (土)	旧みな穂農協 上原支所前	「うえはらふれあいスポーツカーニバル」 Instagram にて予告／YouTube にて動画を公開	300 名
8 月 10 日 (土)	産業展示会館 駐車場	「夏の星空観察会」 Instagram にて予告／当日リアルタイムで画像投稿／YouTube にて動画を公開	20 名
10 月 19 日 (土)	産業展示会館 1 階：研修室	「親子電気教室」 Instagram にて予告／当日リアルタイムで画像投稿／YouTube にて動画を公開	20 名
12 月 7 日 (土)	産業展示会館 1 階：研修室	「大型紙芝居&シンガー英樹トーク&ライブ」 Instagram にて予告／当日リアルタイムで画像投稿／YouTube にて動画を公開	50 名
12 月 14 日 (土)	産業展示会館 1 階：研修室	「親子しめ飾り作り教室」 Instagram にて予告／当日リアルタイムで画像投稿／YouTube にて動画を公開	20 名

◆事業の様子

☆ 親子ホタル観賞会

沢スギ自然館にてホタルが舞う6月下旬に親子で観察会を行っています。講師を迎えて、クイズを交えた説明を受けながら沢スギ自然館の中を散策します。

☆ うえはらふれあいスポーツカーニバル

屋外で開催する公民館まつりです。郷土芸能やコンサート、タイトルにもあるスポーツを取り入れた競技、出店など老若男女問わず楽しめるイベントです。

☆ 夏の星観察会（秋の観察会は雨天中止）

当館の館長が趣味とする天体観測機材を使って一般の方々と月や星を眺めるイベントです。

☆ 親子電気教室（初開催）

一般社団法人北陸電気保安協会のご指導のもと、電気の基礎を学び、組み立てたエコカーに電気を貯めて走らせました。

☆ 大型紙芝居とシンガー英樹トーク&ライブ

入善に伝わる民話を主とした大きな紙芝居を画像化して更に大きく投影して見やすくしています。シンガー英樹さんによるコンサートも毎年好評です。

☆ 親子しめ飾り教室

入善町しめ飾り保存会のご指導のもと、藁から編んでオリジナルのしめ飾りを作ります。

◆事業の成果と課題

・これまで公民館行事の内容を詳しく発表できていませんでしたが、SNSを通じて画像や映像で詳しく地区の皆さんに発信できた事が良かったです。投稿を見て町外の方から「来年参加してみたい」というお言葉を頂きました。

・SNSの投稿に重きを置きすぎるのもどうかと感じました。公民館の規模（職員の人数や行事の数など）はそれぞれ違いますので無理のない程度で発信する事が重要かと思います。

